

授業科目	地域観光開発特別演習 Regional Tourism-Development			担当教員	城前 奈美		
展開方法	演習	単位数	2単位	開講年次・時期	1・2年／前期	必修・選択	選択
授業のねらい							
<p>テーマ：東南アジア諸国の観光開発の経験を学ぶ</p> <p>1970年代以降、東南アジア諸国の経済開発が進み、工業化と同時に、観光開発が進められてきた。これらの観光開発により、タイやシンガポールではこれまで日本に先行して多くの外国人観光客を受け入れてきた。これらの国々の観光開発もたらす経済的効果と社会的影響を先行研究から把握し、地域の観光開発のあり方を学ぶ。</p> <p>日本における外国人観光客の増加による経済的効果と社会的影響は、東南アジア諸国の経験と類似するところや相違するところがあるはずである。これらを見極め、地域の観光開発のあり方を模索する。</p>							
観点	学生の授業における到達目標			評価手段・方法	評価比率		
関心・意欲 ・態度	関連文献を的確に探すことができる。			発表時の引用文献リスト	20%		
思考・判断	文献の文脈から主題を把握することができる。			発表およびレポート	30%		
技能・表現	明確な論理でプレゼンテーションすることができる。			発表	20%		
知識・理解	専門用語を正確に用いることができる。			発表およびレポート	30%		
出席							受験要件
合計							100%
評価基準および評価手段・方法の補足説明							
発表、討論、レポート等により、総合的に評価する。							
授業の概要							
<p>この授業は、3部構成から成る。第1部は「東南アジア諸国の経済開発と観光政策」、第2部は「東南アジア諸国の観光化による経済的効果と社会的影響」、第3部は「地域観光開発の主体」である。</p> <p>各回は、先行研究や学術書を解題しながら進めていく。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書：特に指定しない。随時、資料プリントを配布する。</p> <p>参考書：G. M. マイヤー(編著)松永宣明・大坪滋(訳)(1999)『国際開発経済学入門』勁草書房 M. T. シンクレア・M. スタブラー(著)小沢健市(監訳)(2001)『観光の経済学』学文社</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<p>学問への挑戦は、知への渴望と人知れぬ精進と内面的気品とが基となってなされる。知への渴望と人知れぬ精進と内面的気品をもととする院生の参加を期待している。</p>							

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	第1部 「東南アジア諸国の経済開発と観光政策」	東南アジア諸国の経済開発の歴史を、開発経済学を軸に振り返る。 ①開発の外部金融（公的資金援助と民間外国投資）	G. M. マイヤー『国際開発経済学入門』 pp. 195-258
2		②貿易と開発（幼稚産業保護政策と輸出志向政策）	G. M. マイヤー『国際開発経済学入門』 pp. 259-336
3		③観光開発と産業構造	M. T. シンクレア・M. スタブラー『観光の経済学』 pp. 154-189
4		④市場の機能と国家の役割	G. M. マイヤー『国際開発経済学入門』 pp. 337-420
5	第2部 「東南アジア諸国の観光化による経済的効果と社会的影響」	東南アジア諸国の観光化による経済的効果（所得・雇用効果、外貨獲得効果、地域格差是正効果）について把握する。	統計資料を取得し、データをまとめる。
6		インドネシア・バリ島の芸能を事例に、観光化による文化的影響について考える。	配布する文献資料を解題する。
7		マレーシア・サバ州を事例に、エコツーリズムの現実について知り、将来の姿について考える。	配布する文献資料を解題する。
8		リゾートの歴史とリゾートがもたらす弊害について知り、将来の姿について考える。	配布する文献資料を解題する。
9		タイ北部の山岳民族観光を事例に、民族の観光化について考える。	配布する文献資料を解題する。
10	第3部 「地域観光開発の主体」	外資による開発のメリット・デメリットを探る。	関連する文献資料を取得し、解題する。
11		開発へのメディアによる影響を探る。	関連する文献資料を取得し、解題する。
12		コミュニティ・ベースド・ツーリズムの仕組みを考える。	関連する文献資料を取得し、解題する。
13		開発に向けた政府や地方自治体の役割を考える。	関連する文献資料を取得し、解題する。
14		観光客、観光事業者、観光地域住民のいずれのための観光開発なのか、持続可能な観光を目指した取り組みを考える。	レポートの作成。
15	まとめ	これまでの議論をまとめる。	レポートの作成。